



梱包材開発などを手掛けるスターウェイ（東京・港、竹本直文社長）は、セブンイレブン・ジャパンがセブンイレブン全店（約一万七千七百店）に導入した新型レジスターの配送にスターウェイ製の繰り返し使える梱

## 繰り返し使える梱包材

# セブンイレブンが採用

### スターウェイ、レジスター配送で

包材「写真」を採用したと発表した。今回の取り組みで二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量を約三十パーセント削減できたという。

スターウェイと新型レジスターを生産した東芝テックがセブン側に提案した。電子マネー対応のPOS（販売時点情報管理）レジスターを配送した際に梱包材「イースターパック」を使用。空になった梱包材に古いレジスターを入れて回収したため、各店舗で廃棄物は発生しなかった。梱包材はスターウェイが回収し、別の顧客の配送に使う。使い捨ての梱包材を生産、廃棄する際に発生するCO<sub>2</sub>が削減できた。東京―大阪間を自動車で百五回往復した際に出る量に相当するという。